

27. 後腹膜・腹膜腫瘍

○

○: 専門とするがん ×: 診療を実施していないがん
 ※別紙5に入力した内容が反映されています。
 ※診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

集学的治療・標準的治療の提供体制
 ○: あり ×: なし

○

No.	当該疾患の診療を担当している診療科名と医師数			治療の実施状況 (○: 実施可 / ×: 実施不可) / 昨年の実績 (あり/なし) ※平成25年1月1日～12月31日			各診療科における当該疾患の治療の特色・患者さんへのメッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が掲載されているページ				
	主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門としている医師数	手術	化学療法	放射線療法		ページの見出しとアドレス ※トップページ以外を2つまで記載してください ※アドレスは、手入力せずにホームページからコピーしてください		掲載されている内容		
								治療内容	治療実績	医師の専門分野		
1	外科	5	5	状況 ○ 実績 なし	○ なし	○ なし	手術中に迅速病理組織診断を行うことができます。より侵襲製の少ない手術を心がけております。	ア http://www.wakakoukai.or.jp/daiichi/?page_id=18 イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
2	放射線科	3	3	状況 × 実績 なし	○ なし	○ なし	各診療科と連携し治療を行います。	ア http://www.wakakoukai.or.jp/daiichi/?page_id=18 イ http://	掲載なし	掲載なし	掲載あり	
3				状況 実績				ア http:// イ http://				
4				状況 実績				ア http:// イ http://				
5				状況 実績				ア http:// イ http://				

昨年の治療実績ありの疾患名 ※平成25年1月1日～12月31日	例: 後腹膜腫瘍、腹膜腫瘍
------------------------------------	---------------